

◆台風やゲリラ豪雨による**浸水被害の軽減策を訴える！**



浸水被害を軽減させる為に、抜本的な解決策として、河川の改修や流域貯留浸透施設の設置、本下水道の埋設など長期に亘る事業が実施されています。しかしながら、台風やゲリラ豪雨などによる浸水被害は、頻繁に発生しています。台風18号・26号においても、岩槻区内では多くの浸水被害が発生していることから、浸水情報システム構築に向けた取り組み状況、被害軽減に向けた取り組み状況、事前予防に必要な情報収集と情報の活用の在り方について、質疑を行いました。

また、国の制度である「100mm/h 安心プラン」の活用について、見解を質しました。

◆まちづくりの根幹となる**道路境界確定測量の強力な推進を！**

道路境界確定測量は、まちづくりを推進していく根幹となる事業です。旧浦和市・与野市区域においては、概ね100%完了していますが、旧大宮市・岩槻市区域は大きく立ち遅れている現状があります。(旧大宮市：55.5%、旧岩槻市：35.3%) 災害発生時の復旧が遅れること、公共用地の適性管理への支障、インフラ整備に時間を要すること等、リスクを抱えていることとなります。

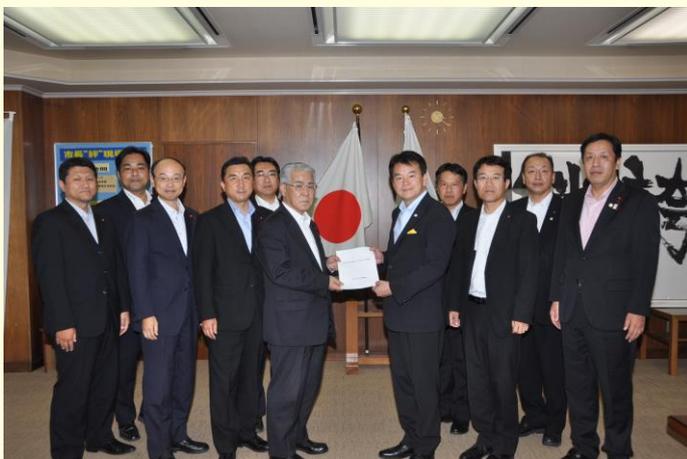
本市では、今後も産業集積拠点の整備や地下鉄7号線の延伸事業等の大きなプロジェクトが計画されており、道路境界確定測量が未完了であることによって、まちづくりの推進に大きく影響を及ぼすことが懸念されます。そこで、強力な推進を訴えさせて頂きました。

【平成26年度予算編成並びに施策に対する要望書】を提出！

公明党さいたま市議会議員団は、さいたま市議会9月定例会の最終日に、清水市長に対して「平成26年度予算編成並びに施策に対する要望書」を提出致しました。

本要望書では、福祉政策を中心に具体的な施策として50項目を記載。項目の多くは、各議員に寄せられる「切実な市民の皆様の声」を背景にしています。

主な要望項目



- 避難計画・災害備蓄拠点の拡充
- 市内医療体制の充実
- 障がい者就労環境の整備及び公共調達による就労率の向上
- 産後の母への心身ケアの充実
- 放課後児童クラブの待機児童解消と時間延長及び対象学年の拡大
- 空き家対策の推進
- 救急医療情報システムの導入推進
- 総合的な浸水対策の推進
- 子どものうつ病対策・メンタルヘルスの推進

編集後記

自転車ロードレース「さいたまクリテリウム by ツールドフランス」が、10月26日にさいたま新都心で開催されました。世界のトップ選手が集結し、感動的な熱戦が繰り広げられ、世界130か国に放映されました。今後も、さいたま市を盛り上げていきたいです。